

もある。

由來日本人は理窟ほいと云ふが、自己の主張すべき當然の権利に就ては存外弱腰である。殊に官廳に對して然うである。官廳はまた國民が言はない限り、進んで國民の権利を確認することをしない。さう云ふ問題にはなるべく觸れない様にしてゐる風がある。然し斯様な態度は今後改められねばならぬ。國民はその主張すべきものは斷乎として之を主張し、同時に服従すべき事柄は極めて從順に服従すべきである。前議會に於ては刑事補償法案が兩院を通過し、之によりて無辜の民が幾分慰められる事になつたが、事柄は違ふけれど、道路受益者負擔金の査定方法改正と共に、道路の新設改修により却て著しく損害を蒙る者の爲に何等か補償の道を開く事は單に公平の爲のみでなく、道路の改良發達を促進する上にも其の必要を痛感する次第である。

國防と交通

沖直道

緒言

現時の所謂交通革命時代に於ては、國民生活上に、經濟上に將た又其の他に於て、交通の完備を必要

とすることは茲に槩説を要せざる所なり。殊に即決を尙ふべき用兵に於ては其の關係する所益々緊切なるものあるを以て、吾人は其の運用に其の建設に日常多大の注意を拂ひつゝあり、左に國防と交通の關係に就き所懷の一端を述べんとす、普く各方面の諒解を得國防施設に一段の進境を齎すを得ば幸甚とする所なり。

國內道路の發達と國防

我邦及英本國の如き四面環海の國土は、由來國防を海に期待することを得て大なる天恵に浴するものと思惟せられたりしも、現時は既に此等の期待に變化を來し、航空機の發達其他作戰方式の進歩に伴ひ環海の國土も亦敵の脅威を胸算せざるを得ざるに至れるのみならず、環海の國土は一面却て敵の奇襲的侵入を容易ならしめ、之に對し其正面を暴露し國防上の危險率を大ならしめたるの感なくんばあらず。彼の歐洲大戰に於て英國が空に海に常に多大の危惧を感じたるが如き其例證なり。

敵航空機の襲來は國民精神上に不快の念を與ふるものなるも、此は畢竟國土に對する徹底的致命傷たるに不十分にして、之に次て來るべき陸上或は海上勢力の侵襲は容易に國家の運命を左右することに至ることあるものとす。環海の諸國が競うて要塞を建設し、防空手段を考慮し、外敵の防遏に力めつつある事實は、明に如上の事項を立證するものとす。外敵の侵入に際しては戦鬪の原則に基き要點に我が兵力を集中して敵武力の重點に對し徹底的打撃を與ふること最も肝要なり。之れが爲國

内防備に任ずる國軍は其の完備せる交通網の巧妙なる利用に依り、其の企圖を遂行するの準備なからべからず。即ち國內に於ける交通網の完備は要塞其他の防禦施設と共に國防の爲等閑に附するを許さざるなり。

國境方面の交通と國防

其の國土が海洋に依りて完全に遮断せられある所謂接壤國ならざる國に在りては、單に國內交通及要塞施設の完備等直接防禦施設のみを以て足れりとするも、既に大陸方面に地歩を有する國土に在りては國外に於て積極的に敵を制壓するを以て賢明の防禦手段と爲すに鑑み、平時より十分なる考慮の下に交通網の施設を爲すこと必要なり。彼の歐洲に於ける接壤諸國が互に平時より有事の日を考慮して戦略的交通網の施設に汲々たる蓋し故なきにあらざるを觀るべし。彼の歐洲大戰勃發以前に於て獨國は既に其の接壤國たる佛國に對し、攻勢作戦を企圖し、其の交通網は兵力の重點を佛軍の左翼方面に指向するに便なる如く平時より十分施設する所ありたるに反し、佛國の考慮は之に至らざりし爲戦争の初期に於て既に蹉跌を生じ國境を捨て、後退の已むなきに至り、巴里を一翼とする「マルヌ河」の線に據り「ジョツフル」元帥の巴里を軸心とする攻勢に依り、辛うじて獨軍の銳鋒を挫きたるも爾後全戰役間を通じて其の國土を戰場に委するの已むなきに至れり。即ち國內及國境附近に於ける交通網の整備は敵に先ちて動員を完結し、軍の適切なる集中を迅速に實施し軍需諸品

の供給を圓滑ならしめ、爾後の作戦を輕快に指導せしむるを以て結局戦争に良好なる結果を招來するものと謂はざるべからず。要するに國境附近に於ける交通網の整備は一國々防の爲等閑に附し得ざる重要な事項なりとす。

戰場と交通

現時の戰闘は軍の機械化と兵力の著き増大とに伴ひ交通網に至大の關係を有するに至り殊に此等兵力の其巧妙なる運用機動に依りて戰勝を博せざるべからざるに至りたるを以て交通網の適當なる利用は作戦指導上的一大要素となれるものとす。從て交通施設劣悪なる地方は彼我主力の戰場に適せず、換言すれば此の如き地方に於ては大戰を惹起するの公算極めて少きものと謂ふべくして茲に滿蒙地方を觀察するに文化の度尚低く、交通施設不十分たるを免れざるも該地方は歐亞連絡上の重要な交通幹線を通じあるを以て同地方に於ける戰闘生起の公算は決して尠しと論斷するを得ず、即ち特殊の關係を有する我國軍に於ては道路の不完備を以て作戦を辭すること能はず、大局上其必要なるに當りては戰闘を敢行し交通網の關係を考察して兵團の運用を之に適應せしめ、時宜に依りては之を構築しつゝ作戦を遂行せざるべからざることあるを豫期せざるべからず。

又戰爭は實に戰場附近の道路のみならず、其の後方本國に通ずる交通網の完備を必要とす、蓋し大軍の補給の爲には其の後方に十分なる補給線を有するを要し、之無き場合に於ては軍は自活の途を

失ふを以て作戦を遂行すること不可能なるべければなり。

彼歐洲大戦の初期獨逸軍がムーラーズ河畔よりマルヌ河畔に至る迄一擧六十里に亘る追撃前進を爲し其の迅速果敢なる前進は世界兵學界の一驚異なりしも惜い哉爾後の補給意の如くならず其の前進は中途にして挫折し千仞の功を一簣に虧くの憾を殘すに至りしは主として國境通過後に於ける後方補給線の不十分に歸せざるべからず。其他日清日露戰後に於ても我軍の前進が交通網の不備に起因する追送能力の衰退の爲軍の作戦が著しく掣肘を受くるに至りしが如き其の例證なり。

之を要するに戰場附近及其の後方に接續する交通網及運搬材料に就ては平時より十分なる調査研究を遂げ之が利用に注意し又之を臨時構築することに關し周密なる企劃あるを必要とするものとす。而して鐵道或は船舶は作戦軍の主要なる交通網にして其の完備の如何は戰勝に大なる關係を有すること茲に絮説を要せざるも道路も亦重要な關係を有するものにして寧ろ戰場附近に於ける小範圍の作戦路或は補給線として軍作戰指導の爲の主要なる交通線たり殊に自動車の發達せる今日に於て益々其の切要を感するものとす。

道路の臨時構築及道路勤務法に就て

作戦軍が常に其の必要とする道路を戰場附近に得ることの至難なるは作戦軍の常に考慮を要する所なり。彼の一般交通網の異常なる發達を遂げある歐洲西方戰場即ち佛國東北部地方に於てす

ら大戦の酣戦期に於ては兩軍共交通網の不備を痛感し、臨時軍用道路を構築し、之に依りて戦争資材即ち弾薬糧秣の補給患者の後送等の用務を辨せざるべからざるに至れり。其の構築法たるや先づ路盤を建設し次で路面鋪装材料を自動車によりて運搬し「ローラー」に依りて之を凝固する等簡易なる方法により迅速に其の目的を達せるものの如し。而して該道路上の連續運搬に任ずる自動車を適當に整理して能く其の道路及輪轉材料の全能力を發揮せしめたり。

吾人は戰場に於て兩國軍の行ひたる交通の整理並に偉大なる輸送効率を發揮せしめたる道路勤務の周到等に關し學ぶべき點多々なるを認む。

由來道路勤務に關しては我邦軍部は固より一般民間方面に於ても研究未だ十分ならざるものありて尙向上の餘地大なるものありと觀察せらるゝ事柄尠からざるが如し談少しく餘事に亘るも東京市内に於ける道路交通整理の如き、吾人は市民の一員として又有事の際に於ける要衝地點の交通を考慮して平素研究を續けつゝあるものなるが現時各關係者の大なる努力に依り交通の整理に能率の發揮に漸次良好の域に向ひつつあるを見て、邦家の爲感謝に堪へざる所なるも由來急激に發達せる市内交通諸機關と輸送量の増大並交通道徳に關する智識に乏しき我邦の状態より見て果して道路運輸能率の最大限を發揮しつゝありや否やは大に疑問とする所なり。更に之を具體的に述ぶれば速度の異なる各種車輛が同一道路上に聚集するは果して適當なるや否や、其の速度過ぎ牛馬車の交通の如きは之を時間に依りて制限し或は道路の區分に依り他との混同を避け或は市民の交通

の最も閑散なる深夜に電車を利用して貨物を各方面要地に運び、車馬の運搬範圍を成るべく小距離間に局限する等一般の輸送能率の向上の方法に關し研究の餘地あるが如し、勿論諸多の理由に依り直に之を實行すること不可能なるものあらんも、吾人は戦場の交通整理及道路勤務實施の觀點に立ちて此等の事象の研究を爲すは興味多き事項なりと信じつゝあり。

道路の愛護に就て

戦場及其の附近に於ける道路を常に完全なる狀態に在らしむる爲、之が愛護に關して講究するは道路勤務法と共に吾人の研究を要する所なり。

戦時に於ては各道路を區分し各部隊の受持區域内に在る軍用道路を完全なる狀態に保持せしむることに關し、努力を要する所にして時宜に依りては擔當地方に對し嚴罰を以て之に臨み或は其の努力に對し賞を懸けて之を獎勵する等各種手段を盡して其の實現を圖るにあらざれば其の萬全を期すること困難なるを常とす。

此等の保護は獨り軍用なると或是一般交通用道路なるに關せず、常に最大の努力を拂はざるべからざる所にして既に我邦に於ては先輩各位が創設せられし道路愛護會に依りて著々其の實績を挙げつゝあるに鑑み、吾人の學ぶべき點極めて多きを痛感す。彼の獨逸に於ける各地方小部落を通ずる道路は道路兩側に栽植せる果樹の收穫に依りて改良保存費を得て常に良好なる狀態に維持せ

られつゝあるを見我邦に於ても參酌すべき手段なるべしと思惟す。論者往々我國に於ては公徳心の發達未だ其の域に達せざるを以て此施設は尙過早なりと爲すものなきにあらざるも所謂赤心を人の腹中に置き國民道德の向上と道路愛護心とを併進せしめ國家として形而上下の美を益々發揮せしむるの積極手段に出づれば相當效果あるべきを痛感す。

結論

以上述べたる所は戦時の考慮上より國內及國境附近に於ける交通網完備の要望と戰場及其の後方に於ける交通の必要並に戦時に於ける臨時構築道路とその交通整理及勤務法を考察し更に思を道路交通能率の發揮殊に東京市の如き交通量の多き地方に於ける交通整理に及び軍の交通能率發揮の研究に資し且既設道路の愛護及其の完成を高唱して有事の日に於ける交通網の保全を切望せし趣旨に外ならず。讀者の廣汎にして且豊富なる交通上の識見に訴へ以て如上事項に關して教示を乞はんとす。